

ピリナッツと火山の街 レガスピ市

フィリピンの首都マニラから飛行機で1時間余り、レガスピ空港を降り立つとそこはもう別世界。滑走路の奥に悠然とそびえ立つマヨン火山の存在感がタラップを降りた乗客を圧倒する。高さ 2,462m でほぼ完璧で美しい円錐形をしたこの山は今でも活動を続ける活火山です。近年でも 1993 年,2000 年,2003 年と頻繁に噴火を繰り返し、多くの犠牲者を出してきた経緯もあるそうです。マヨン火山の南東に位置するレガスピ市では、風向きの関係から噴火による被害を逃れてきましたが、山のまわりを車で一周してみると噴火による爪痕がいたるところで確認できます。



レガスピ空港



マヨン火山

そしてこの地方原産のナッツが「ピリナッツ」です。アーモンドなどの一般的なナッツと比べると、ソフトな口当たりで、脂っぽさが全くない新しい食感が楽しめます。素材のプレーンさを生かして、はちみつ味、塩味、ガーリック味など様々な味付けのピリナッツ加工製品が販売されています。ピリナッツはこの地方のみでとれる大変珍しいナッツですが、地元で飲まれるサンミゲルビールや赤・白ワインとの相性も抜群です。火山を眺めながら、ピリナッツをつまみに一杯やればフィリピンの奥深い魅力をまた一つ知ることができるでしょう。(T.M)



原料のピリナッツ



ピリナッツ加工製品